

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所では共同研究機関である国立国際医療センターと、以下にご説明する研究を行います。

国立がん研究センター研究所では、国立国際医療研究センターで保管している診療後の残余（余った）検体と診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。研究対象者が未成年の方の場合、保護者等からの申し出も受け付けます。

[研究課題名] 副腎悪性腫瘍の空間マルチオミクス解析による病態解明および治療標的探索研究

[研究対象者]

2010年1月～2025年5月までの間に、国立国際医療センターにて褐色細胞腫・パラガングリオーマ、副腎皮質がん、副腎腺腫の診療を受けられた方、もしくは他疾患の手術（腎摘出術など）において副腎が合併切除された方。

[利用する検体・診療情報等の項目と取得方法]

検体：副腎腫瘍組織、正常副腎組織（うち、残余があるものに限る。）

診療で検査を行った後に余ったものを利用します。

診療情報等：診断名、年齢、性別、病歴、検査データ、治療歴など

カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] （遺伝子解析研究：有）

有効な治療法が限られる副腎悪性腫瘍において、病態解明と治療標的の探索を目的としています。

[共同研究機関及び研究責任者]

上記の検体・診療情報等を、下記機関に対して、空間マルチオミクス解析に関する共同研究実施のために提供します。

〔主な提供方法〕 ☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☐電子的配信 ☐その他（ ）

1. 国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所 がん細胞システム研究ユニット 独立ユニット長 関根 圭輔

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2027年3月31日までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

国立健康危機管理研究機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する検体や診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[本研究全体の研究代表：機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 糖尿病内分泌代謝科 診療科長 田辺晶代

問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 糖尿病内分泌代謝科 診療科長 田辺晶代

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9 時～16 時）

[当院の機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立研究開発法人国立がん研究センター理事長 間野博行

研究責任者：国立研究開発法人国立がん研究センター研究所 がん細胞システム研究ユニット 独立ユニット長 関根 圭輔

[お問い合わせ先]

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 研究責任者 関根圭輔

国立研究開発法人国立がん研究センター

03-3542-2511（代表）